



角川武蔵野ミュージアムに行ってきました!

ところざわサクラタウンに角川ミュージアムが出来たということで、行ってみました。5階建ての建物で、中には「マンガ・ノベ回書館」「イベントギャラリー」「本翻劇場」などがあります。

イベントギャラリーでは現在浮世絵劇場fromParisが開催中です。360°に映像が映し出され、まるで夢のような世界が繰り広げられます。

マンガ・ノベ回書館では、椅子に座りゆっくりと読書が出来ます。絵本などもあり、お子様と一緒に楽しむ場所です。有名な本翻劇場も圧巻の一言でした。その他、武蔵野の歴史や作家展など学術的なものもありました。

そして、出口では3体の黄金ウルトラマンが見送ってくれます。とても楽しい時間を過ごすことが出来ました。皆さんも一度行ってみてはいかがですか？

(文/看護師・高嶋)



※ところざわサクラタウンとは

KADOKAWAと所沢市が「みどり・文化・産業」を目指し協働して建設された
巨大施設、角川武蔵野ミュージアムは文化の発信拠点とされている。



お知らせ 感染対策強化月間を継続！

4月以降も当面の間、感染対策強化月間を継続していきます。

面会をはじめ、様々な事を制限させて頂いております。詳しい情報は、ホームページ等でご確認下さい。

編

昨年度は、コロナ禍での夏季「東京オリンピック」冬季の「北京オリンピック」
が開催されました。夏季・冬季共に、若い世代のニュースポーツ（スケートボーダー・スノーボード）でのメダル獲得などで歓喜に沸きました。

集

その中でも、ライバル同士でもリスペクトし合い、競争度の高い大技にチャレンジする選手の結果に関わらず称え合いハグする姿や、女子カーリングのロコ・ソラーレの選手がプレー毎に、ポジティブで優しい「ナイスー」は、テレビで見ている誰もが、明るい気持ちになったのではないでしょうか。

後

私はこの雅場でも、最高のチームプレーで皆さまからナイスー（すばらしい）と思っていただける医療・介護を笑顔で届けます。

(文/看護師・澤田)

実行

医療法人 善仁会 所沢ロイヤル病院 広報委員会 はなみずき編集部

〒359-1152 埼玉県所沢市北野三丁目1番地11 TEL:04-2949-3385 FAX:04-2949-7872



vol.66

令和4年
4月1日発行

所沢ロイヤル病院

はなみずき

病院理念

私たちは安全で良質な医療、
心のこもった看護・介護、地域社会との連携を目指します。



我ら、お薬三銃士！

~一人はみんなのために、みんなは一人のために~

薬局の医療安全への取り組み

皆さまは、医療安全への取り組みについて日々現場でどんな事が行われているかご存じでしょうか？

今回ご紹介するのは、薬局の「電子カルテ」による取り組みの一つです。

紙カルテから電子カルテへと変わり、早や数年が経ちます。電子カルテの導入により作業効率が向上し、「安全で良質な医療」をより短時間で、患者さんのものとへお届けできるようになりました。

薬剤科では、薬歴の一元管理ができるようになったため、患者さんの過去の服用履歴や副作用歴、アレルギー歴、検査結果等を素早く確認し、処方ミスを防ぎ、患者さんをお待たせする時間がより短くなりました。



また、診療計画・指示内容・実施内容・投薬情報がすばやく情報共有され、病棟のどこにいても、リアルタイムに閲覧することが可能になりました。多職種とのスムーズな連携がとりやすく、チーム医療が向上することにより、医療の安全に繋がっています。

今後も皆さまに『安全で良質な医療』を提供できるよう日々精進して参ります！

（文/薬剤師・秋元）

こんにちは！薬剤師3年目の秋元です。仕事は毎日覚えることがたくさんありますが、何事もチャレンジ精神で頑張っています！分からぬことをそのままにせず、患者さまの気持ちに寄り添える薬剤師になることが目標です！

最近、群馬県の草津温泉で歌われている「草津節♪」に嵌っています。職場への行き帰りも歌っています。

ところで、日本各地にある〇〇節には「ドッコイシヨ」「チョイナ、チョイナ」などの囃子言葉が使われていますが、実はヘブライ語が語源であるという説があります。チョイ・ナは「いざ進め・祈れ」(祈れば、何事も成し遂げられる)の意味だそうです。チョイナ、チョイナで、みんなで一緒に、コロナ禍を乗り越えましょう！！



BWSTTについて

今回、当院リハビリテーション科に新しい治療機器が導入されましたので紹介したいと思います。

免荷式リハビリテーションリフトとトレッドミルが導入されました。これにより体重免荷型トレッドミル歩行トレーニング(Body Weight Supported Treadmill Training:以下BWSTT)が可能となりました。

BWSTTとは介護現場などで使用されるリフトで体重を免荷しつつトレッドミル上を歩行するトレーニング方法となっております。BWSTTは脳卒中治療ガイドラインでもエビデンスレベルが高いとされております。トレッドミル上で歩行をすることで受動的にリズミカルな歩行が可能となり、脳血管障害だけでなく運動器疾患による歩行障害に対して有効性が高いとも考えられています。免荷式リハビリテーションリフトを使用することで重度の麻痺を罹患している患者様などに対しても歩行練習が実施できなおかつ体重をハーネスで免荷しているため転倒の危険性も低く安全に歩行練習ができるようになりました。

今後、この機器を積極的に活用し当院に入院された患者様の機能回復により一層努めていきたいと考えております。

（文/理学療法士・市川）



骨盤・大腿部をしっかりとホールドするハーネスを使用



免荷式リハビリテーションリフトとトレッドミルを使用した歩行トレーニング



免荷式リハビリテーションリフトのみ使用した歩行トレーニング